



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月24日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社正興電機製作所

コード番号 6653

URL <http://www.seiko-denki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福重 康行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831

四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	5,483	11.4	464	133.1	449	146.6	257	76.1
26年12月期第1四半期	4,921	0.8	199	△15.4	182	△32.9	146	△42.6

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 288百万円(75.5%) 26年12月期第1四半期 164百万円(△50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	21.89	—
26年12月期第1四半期	12.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	19,029	6,260	32.9
26年12月期	17,068	5,678	33.3

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 6,260百万円 26年12月期 5,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	6.1	300	69.1	290	91.6	120	18.5	10.19
通期	18,500	2.3	550	12.7	530	0.1	370	△15.0	31.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	11,953,695株	26年12月期	11,953,695株
27年12月期1Q	187,107株	26年12月期	169,356株
27年12月期1Q	11,777,538株	26年12月期1Q	11,828,269株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気回復策や日銀の金融緩和策継続により株高や円安が維持されたことで輸出環境や企業収益が改善し、緩やかではあるものの景気回復が続きました。一方で円安による原材料価格の上昇、電気料金の値上げや設備投資の伸び鈍化、また緊迫する中東情勢や中国をはじめ新興国経済の減速など世界経済の下振れリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは長期経営ビジョン「正興グループビジョン100」及び新中期経営計画「SEIKO IC2017」を策定し、激変する事業環境を大きく成長する機会ととらえ、4つの重点課題(①コア事業の基盤強化による事業の拡大と高収益化 ②新事業・新分野の拡大 ③戦略的な人材育成 ④CSR経営の推進)に取り組んで参りました。

この結果、電力部門、環境エネルギー部門が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は6,288百万円(前年同四半期比 6.0%増)、売上高は5,483百万円(同 11.4%増)となりました。

損益につきましては、営業利益は464百万円(同 133.1%増)、経常利益は449百万円(同 146.6%増)、四半期純利益は257百万円(同 76.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (電力部門)

電力会社の設備投資抑制などの影響が続く中、配電設備やリプレース・メンテナンス市場に注力してまいりました結果、受注高は1,387百万円(前年同四半期比 44.5%増)、売上高は1,432百万円(同 4.7%増)となりました。

#### (環境エネルギー部門)

水処理関連や道路設備向け受配電システム等が堅調に推移し、受注高は4,087百万円(前年同四半期比 1.8%増)、売上高は3,139百万円(同 13.8%増)となりました。

#### (情報部門)

港湾関連システムの計画案件の取り込み遅れにより、受注高は270百万円(前年同四半期比 12.2%減)、売上高は265百万円(同 1.6%増)となりました。

#### (その他)

産業関連設備においては、サービス分野での環境・省エネ設備関連の取り込みに注力しました結果、受注高は543百万円(前年同四半期比 16.4%減)、売上高は646百万円(同 21.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,009百万円増加の13,507百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,407百万円増加したことや現金及び預金が688百万円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して48百万円減少の5,522百万円となりました。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して1,777百万円増加の10,477百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,055百万円増加したことや支払手形及び買掛金が678百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して398百万円減少の2,291百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が376百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して581百万円増加の6,260百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により58百万円減少したものの、退職給付に関する会計方針の変更により359百万円増加したことや四半期純利益の計上により257百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月18日に発表いたしました第2四半期(累計)業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年4月24日)別途開示しております「平成27年12月期 第2四半期(累計)期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が363百万円減少し、利益剰余金が359百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,444	2,132
受取手形及び売掛金	7,834	9,241
有価証券	75	105
商品及び製品	230	123
仕掛品	1,354	1,366
原材料	311	283
その他	260	266
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	11,498	13,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,343	2,318
その他(純額)	849	826
有形固定資産合計	3,192	3,144
無形固定資産		
投資その他の資産	262	254
投資有価証券	2,046	2,054
その他	69	68
投資その他の資産合計	2,115	2,123
固定資産合計	5,570	5,522
資産合計	17,068	19,029
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,899	4,578
短期借入金	3,228	4,284
未払法人税等	190	245
賞与引当金	-	195
工事損失引当金	5	3
その他	1,374	1,170
流動負債合計	8,699	10,477
固定負債		
長期借入金	285	285
退職給付に係る負債	2,094	1,717
その他	310	288
固定負債合計	2,690	2,291
負債合計	11,390	12,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323	2,323
資本剰余金	1,640	1,640
利益剰余金	1,604	2,162
自己株式	△71	△79
株主資本合計	5,496	6,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	523	555
為替換算調整勘定	△125	△131
退職給付に係る調整累計額	△215	△211
その他の包括利益累計額合計	182	213
純資産合計	5,678	6,260
負債純資産合計	17,068	19,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	4,921	5,483
売上原価	4,120	4,396
売上総利益	800	1,086
販売費及び一般管理費	601	621
営業利益	199	464
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	1	2
貸倒引当金戻入額	13	0
その他	3	2
営業外収益合計	18	5
営業外費用		
支払利息	10	11
為替差損	16	3
その他	9	6
営業外費用合計	35	20
経常利益	182	449
税金等調整前四半期純利益	182	449
法人税、住民税及び事業税	31	202
法人税等調整額	4	△11
法人税等合計	35	191
少数株主損益調整前四半期純利益	146	257
四半期純利益	146	257

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146	257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	32
為替換算調整勘定	1	△5
退職給付に係る調整額	-	4
その他の包括利益合計	18	30
四半期包括利益	164	288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164	288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力部門	環境 エネルギー 部門	情報部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,368	2,759	261	4,388	532	4,921	—	4,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	34	101	135	275	410	△410	—
計	1,368	2,793	362	4,524	807	5,331	△410	4,921
セグメント利益又は 損失(△)	27	181	△9	198	0	199	—	199

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力部門	環境 エネルギー 部門	情報部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,432	3,139	265	4,837	646	5,483	—	5,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	50	88	139	530	669	△669	—
計	1,432	3,189	354	4,976	1,176	6,153	△669	5,483
セグメント利益又は 損失(△)	267	194	△6	455	9	464	—	464

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。